

# 平成27年度「研究大学強化促進事業」フォローアップ 進捗状況概要 広島大学

## 目的

広島大学改革構想の下、強化方針に基づき、研究力強化の取組を推進する。世界大学ランキングトップ100の総合研究大学に躍進するため、世界的研究拠点を継続的に創出し、本学の特長ある学際・融合領域を創生する。また、活発な国際研究活動の展開によって、国際教育研究ネットワークを構築し、国際的評価の向上を図る。

(強化方針)

- ① URAをはじめとする研究推進体制・研究環境の整備
- ② 世界的研究拠点を継続的に創出
- ③ 優れた研究人材の確保・育成のための競争的環境の確立
- ④ 国際研究活動の活性化

## これまでの実績・進捗状況

### ○「大学改革」と「国際化」の推進のためのマネジメント体制確立と制度改革の実施

- ・学長を機構長とし、全部局長等をメンバーとする「研究推進機構」を設置
- ・シニアURA・URA・アソシエイトURAの三層のURA、「学術系」「専門系」「事務系」の多様な能力を有する「研究協働力」を持ったURA組織体制を整備
- ・人文社会系の国際評価を高める指標を設定し、点数化による教員個人評価とその処遇への反映を全学で実施。目標を達成するための道筋を明確にするための「A-KPI」の設定と活用

### ○国際教育研究ネットワークの構築

- ・本学の特長ある研究拠点を継続して選定・評価し、資源の戦略的重点配分を実施、国際共同研究等を推進
- ・年俸制適用拡大、テニュアトラックを活用した国内外の優れた研究人材の確保・育成を実施
- ・ライティングセンター機能を拡充、国際的プレスリリースプラットフォームを活用した研究成果の国際発信、自治体等との連携による国際会議の積極的誘致など、活発な国際研究活動を展開

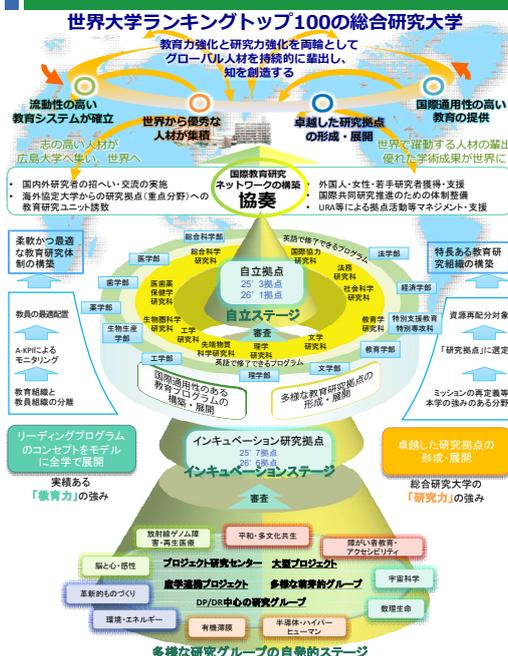
## 今後の課題と展望

- 【課題】これまでの取組を実のある研究成果として発信し、「国際的評価の向上」を図る
- 【展望】「志の高い人材が広島大学に集い、世界へ」「世界で躍動する人材の輩出、優れた学術成果が世界に」  
⇒研究力強化と教育力強化を両輪として、グローバル人材を持続的に輩出し、知を創造する世界大学ランキングトップ100の総合研究大学

さらには、「100年後にも世界で光輝く大学」となる

## 「大学改革」と「国際化」の推進と 国際教育研究ネットワークの構築

広島大学



## フォローアップ結果

評点区分：順調に進んでいる

### 全体を通した所見

- 全学的な組織として、研究推進機構を設置し、その下に、「学術系」、「専門系」、「事務系」の多様な URA を配置し、年俸制、国際公募、テニュアトラックなどの制度改革に取り組んでいる。国際報道についても、「EurekaAlert!」を利用するなど、対応が進められており、当初の構想に沿って順調に進んでいることが確認された。

### 特に優れた点

- 大学の有する4つの問題点を分析し、その改善に向かって、URA 制度を活用しており、研究力の分析面で優れた取組が見られる。また、本事業から11人、自主財源等から60人のURA(類似業務を含む)を雇用し、量的充実が図られている。
- 教員の個人評価の全学的体制が整備されており、今後の実効的な取組を期待したい。

### 期待する点

- 採択時にコメントした広島大学の強みの一つである人文・社会・教育系の改革について、一定の取組が進んでいることが確認されたが、英文論文の積極的発表などを含め、更なる取組と成果を期待したい。